



Sekisyo 通信



R6・7・4

NO, 10

文責：校長酒井



めざす児童像：夢や希望を追い求め、失敗も学びにかえる子

☆☆お待ちしております。第2回授業参観・学年懇談会☆☆

7月となり1学期も残すところあとひと月となりました。例年より遅い梅雨入りとなりましたが、まとまった雨もなく今後の水不足が危惧されるところです。

さて、本校では、今年度から通知表を前後期制としましたので、評定に追われることなく毎日の授業を丁寧にすすめているところです。

明日は、授業参観、学年懇談会。コロナ禍でなかなか実施できないこともありましたが、今年度予定通り実施できることを嬉しく思います。わずかに45分の参観ですが、人数の制限もありませんので、どうぞ皆さんでお越しください。

授業参観には大きく3つの目的があります。

- 1、学習の様子を参観していただき、子ども達の成長を通して、本校教育に関心を持っていただく。
- 2、授業を通して保護者と担任、学年スタッフとの信頼関係を深める。
- 3、保護者が互いに交流する中で、情報を交換しよりよい子育てを行う。

今年度2回目の参観授業となりますが、参観を通し子ども達の更に成長した姿をお見せしたいと思えます。授業内容については既に配布したお知らせで紹介済みですが、特に、2の担任等との信頼関係づくりは大切です。子どもは学校だけでは育ちませんし、そして家庭だけでも育ちません。もちろん地域も大切ですが、まずは学校と家庭が連携し合うことが大切です。学校に任せておけば・・・という時代は「今は昔」となりました。予測不可能な時代を生き抜くたくましい子ども達を育てるために、どうか力添えをお願いします。参観後には懇談会がありますので、授業の感想や疑問、その他相談がありましたら、遠慮無く声をかけてください。本校はクレームゼロの学校ですが、建設的なご意見は大歓迎です。大切な子ども達のために、互いにできることを明確にするための時間としたいと思います。懇談会もお待ちしております。

図工や俳句などの作品を丁寧に作ったので、見てほしいです。
グループで話し合って発表します。タブレットも使います。
国語の授業で、真剣に考えたことを分かりやすく発表します。

校長室に取材に来た6年生3人組に逆インタビューしたところ、間髪を入れずに答えてくれました。一番楽しみにしているのはやはり子ども達ですね。



夏だ！プールだ！（水泳の授業が始まっています。）

6月のプール開きから約1か月、授業（プール）をのぞくと熱気でいっぱい。それぞれのコースに分かれた子ども達が、それぞれの目標達成に向けて奮闘しています。今年も、1・2年生は特別非常勤講師に吉田様を迎え準備も万端です。しかし、町のプールを使用しての授業はどの学年も10回程度に限られていますので、1回1回の授業が大切です。スケジュールの関係で続けて授業が組まれる場合もあり、保護者様には連日の水着の準備等お世話になっています。

水泳は、回数を重ねながら体で覚える全身運動です。泳ぐことの楽しさを身につけた子ども達は、一生涯プールが友だちになります。ご家庭での励ましをお願いします。

裏面もあります↓

全校集会 校長の話（ホタルのはなし）

6月24日

こんにちは。今日もさわやかなあいさつをありがとう。

昨日、私たちの住む南東北地方も例年よりも2週間くらい遅く梅雨入りしました。これからしばらくの間は雨の日が多くなりますから、外で遊ぶこともなかなかできなくなります。外で遊ばずにストレスをためて、友達とトラブルを起こしたり、廊下を走ってけがをしたりしないよう、室内での過ごし方を工夫しましょうね。

先週の金曜日のことです。校長先生は仕事が終わらず学校を出るのが遅くなってしまい、気が付くと夜の8時を過ぎていました。あたりは真っ暗で、シーンと静まり返っています。川沿いを家に向かって一人とぼとぼと歩いていると、遠くに何やら小さな光が見えます。その光は、消えたかと思うとフワリとひかり、また消えるのです。なんだろうと、そっと近づいてじっと目を凝らしていると、その小さな光は1つ2つと増え、気づくと4つ5つになりました。

その光は…、その光は…？（怪談の雰囲気です）それは～、ホタルでした。（ちょっと会場がざわついたところで、拡大したホタルの絵を提示しながら話を続ける）

ところで、みなさんはホタルを見たことがありますか？校長先生は、石川町に住むようになって30年になりますが、こんなにたくさんのホタルを見たのは初めてです。とても嬉しかったので、家に帰って古い百科事典（今は死語！？）を引っ張り出して調べてみました。

日本にはなんと50種類以上のホタルが生息していて、特に有名なのがゲンジボタルとヘイケボタルです。ホタルが光るのは、メスもオスも結婚相手を探すためで、メスは葉っぱの上で静かにひかり、オスはフワフワと飛びながらその光を探すのだそうです。だから、（中略）

ホタルはきれいな川でないと生息できないとされています。学校の下を流れる今出川もきれいな川なのでしょうね。その原因の一つがこれではないかと校長先生は思っています。（朝に引き抜いてきた2mほどのカヤを見せながら）これはカヤという植物ですが、今出川には今、このカヤが群生しています。カヤは、水を浄化する働きがあります。だから今出川の水もきれいなのではないかと思うのです。しかし、このカヤは群生すると川の幅がどんどん狭くなります。もし、大雨が降り続いたら…、川の近くの家は水浸しとなるかもしれません。人間と自然が共生、共存するのは難しいことなのかなど…、（中略）

今日は曇り空、しかもちょっとムシムシしますね、これはホタルが飛び交う好条件です。今晚は沢山のホタルが現れるかもしれませんね。家の人を誘ってホタル狩りに出かけてみてはどうですか。ただし、必ず家の人と一緒にですよ。お話を終わります。

翌朝、早速数人の子がホタル狩りに出かけたことを教えてくれました。実は、私の家の前にも今出川が流れていますが、その日から約一週間は同じようにホタルを確認することが出来ました。そして、時々子ども連れらしい家族の小さな声のやりとりが聞こえてきました。顔を出すことはしませんでした。とても和やかな雰囲気が伝わってきました。

次の週は、4年生の「せせらぎスクール」。ホタルを見つけた場所よりも少し下流の今出川で水質の調査を行いました。PHや水生生物を調べる本格的な調査です。

さて、今出川はきれいな川といえるのでしょうか？データの集計にはもう少しばかり時間が必要なようです。

夏休みの自由研究で取り組んでみるのもおもしろいですね。ただし、くれぐれも子どもだけでは近づかないように！

